

地域に密着した農業経営を目指す株式会社巖生産組合

事業実施主体名	株式会社 巖生産組合		住 所	米子市
プラン認定日	平成20年1月9日	プラン期間	平成20年～平成22年	

1 プラン内容

(1) 概要

○目的

地域の信用に応えながら経営規模を拡大し、効率的に機械導入を図ることで耕作放棄地の発生を防ぐとともに、地域内から雇用を受け入れ、付加価値の高い特別栽培米や白ねぎを増やすことで一層の経営安定を目指す。

○ 取り組み

- ・経営面積の拡大と雇用創出のために機械を導入し、水稻経営と水田の作業受託の拡大に取り組む。
- ・特別栽培米の取組みと大豆作業の受託により経営の安定を図る。
- ・農の雇用制度により研修生を受け入れ後継者を育成するとともに、退職者の雇用によって地域活性化を図る。
- ・白ねぎの栽培面積を拡大し、冬場の労働力の有効活用を図る。

(2) 取り組みポイント

- 高性能機械の導入による経営面積の拡大
- 雇用の創出による地域社会への貢献
- 農閑期における農業収益基盤の強化による年間を通じた安定雇用

(3) 事業の概要

年度	内 容	事業費 (千円)	補助金額(千円)	
			県	市町村
H20	乗用田植機 (除草散布機付) 6条 1台	2,470	823	412
H21	トラクター (ロータリー及びオート装置付) 42PS 1台	4,257	1,419	709
H22	コンバイン (4条) 63.4PS 1台 汎用コンバイン 38.4PS 1台	12,686	6,343	2,114
合 計		19,413	8,584	3,235

2 プラン実施状況

(1) 労働力、経営内容

	認 定 時 (H 1 9)	現 状 (H 2 3)
労働力 (雇用)	4 人	5 人
経営内容・規模	水稲 1 8 ha 白ネギ 0. 3 ha 作業受託 1 2 1 ha (延べ面積)	水稲 2 8 ha 大豆 9 ha 白ネギ 1. 5 ha 作業受託 1 9 0 ha (延べ面積)

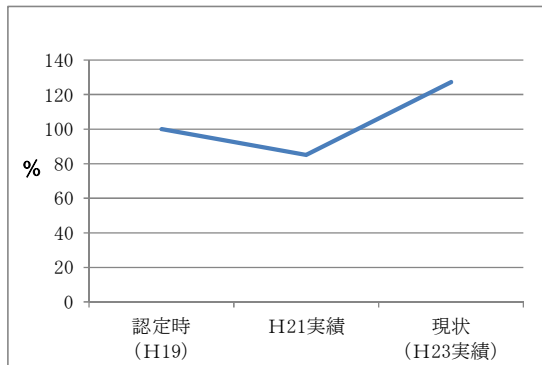
(2) 成果

○プラン目標に対する実績

- ・白ネギの品種を「冬黒」から「関羽」へ転換し、収量増を図るとともに、白ネギの調整機を導入することで、1日当たりの出荷量を95ケースから130ケースに増やした。
- ・水稲が「コシヒカリ」のみであったのを、「ひとめぼれ」、「コシヒカリ」、「きぬむすめ」と分散することで、作業競合を改善し、経営規模を拡大した。
- ・部門別に責任者を置き、作業や製品の管理体制を構築した。
- ・白ネギの栽培研修会への参加回数を増やし（1～2回/年→4～5回/年）、技術習得に努めた。

○経営改善の実績

【認定時の売上高を100とした場合の割合】



(最盛期の代かき風景)

- ・上記の結果、売上高が認定時比127%となり経常利益も売上高の10%程度を占めている。

○雇用の増加状況

- ・農の雇用制度により自社の人材育成に努めるとともに（財）鳥取県農業農村担い手育成機構によるアグリスタート研修生を受け入れることで、地域の担い手育成にも貢献している。

単位：人

	H21～23	H24～	H25～
農の雇用	1	1	1
アグリスタート研修		1	1

注1) アグリスタート研修は（財）鳥取県農業農村担い手育成機構による研修制度

注2) H25以降は予定



(若手職員への指導風景)

○今後の課題

- ・急速に拡大する経営規模に対応できる体制作りと人材育成
- ・ほ場管理の効率化

[西部総合事務所農林局]